



2019年3月期 決算説明会

2019年5月13日

JASDAQ: 6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

ネットシェイプ事業

◆金型◆

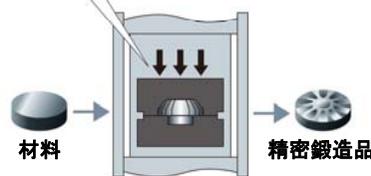
・金型生産、開発から部品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供。

◆精密鍛造品◆

・金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供。

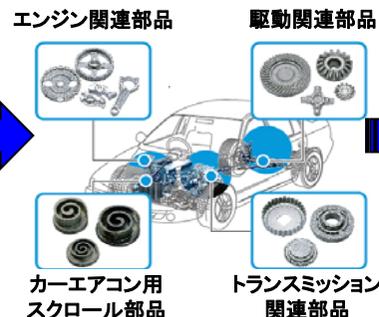
ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造

切削・加熱することなく一発で複雑な形状に加工



部品メーカー(顧客)が精密鍛造金型を使って自動車用部品を生産

(一部当社でも生産)



主に自動車産業

【金型】

・国内の全自動車メーカー系列企業。
・海外の自動車部品メーカーとの取引も増加。

【精密鍛造品】

・自動車部品メーカー
(主製品はスクロール鍛造品)

アッセンブリ事業

・ディーゼルエンジン及びガソリンエンジンのターボチャージャー部品の組立。

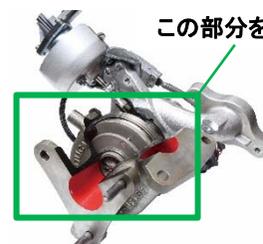
・国内およびタイ工場で組立て、顧客企業の現地調達ニーズに対応。



VGターボチャージャー部品

納入先メーカーでターボチャージャーの一部に組み込まれる

この部分を組立て



VGターボチャージャー

自動車産業

全世界の自動車メーカー

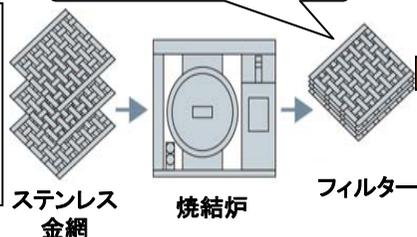
フィルタ事業

・複数のステンレス金網を一体構造化した積層焼結フィルターの生産。

・フィルターの洗浄・再生サービス。

独自の「拡散接合」技術を使ってフィルターを製造

微細で均一なる孔を実現



顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工



各種メーカー

石油、ガス、化学、繊維、食品、航空宇宙産業 など

ネットシェイプ事業

単独

ニチダイ (ND)

宇治田原工場



スクロール鍛造品



精密鍛造金型

- 精密鍛造金型の生産拠点。
- 約30名の開発人員を持つ。
- 鍛造プレスを保有。鍛造品の生産も行う。

アッセンブリ事業

京田辺工場



VGターボ
チャージャー部品



WGターボ
チャージャー部品

- 国内におけるターボチャージャー部品の生産拠点。
- 平成27年に宇治田原工場より京田辺工場に移転。

フィルタ事業

ニチダイフィルタ (NFC)

宇治田原工場



積層焼結金網
フィルター

- 国内の開発・生産拠点。
- 焼結炉を5基保有。

海外拠点

ニチダイ アジア (NDA)

- ◆タイに立地する金型販売拠点。

ニチダイ USA (NUC)

- ◆米国オハイオ州にある金型販売拠点。

ニチダイタイランド (NDT)

- ◆タイ・バンコク近郊にある海外子会社。ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業双方におけるアジアの戦略拠点。

ネットシェイプ事業

- ・エアコン用スクロールコンプレッサ部品の生産。
- ・精密鍛造金型の生産

アッセンブリ事業

- ・ターボチャージャー部品の製造販売 (海外ユーザー向け)

タイ・シタート・メッシュ (TSM)



- ◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地するフィルターの生産拠点。石油掘削用フィルターが主製品。

I .19/3期実績

I .19/3期実績 — P/L: 売上・利益の状況 —

▶ 過去最高の売上高、利益を計上。

単位: 百万円

	18/3 実績 17/4-18/3	19/3 修正計画 18/4-19/3 (18年10月発表)	19/3 実績 18/4-19/3	対前期 増減率
売上高	15,248	16,220	17,416	14.2%
売上総利益	2,947	3,391	3,753	27.4%
販売管理費	2,192	2,218	2,366	7.9%
営業利益	755	1,173	1,387	83.8%
営業外損益	△23	△14	△29	—
経常利益	778	1,187	1,417	82.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	522	790	968	85.4%

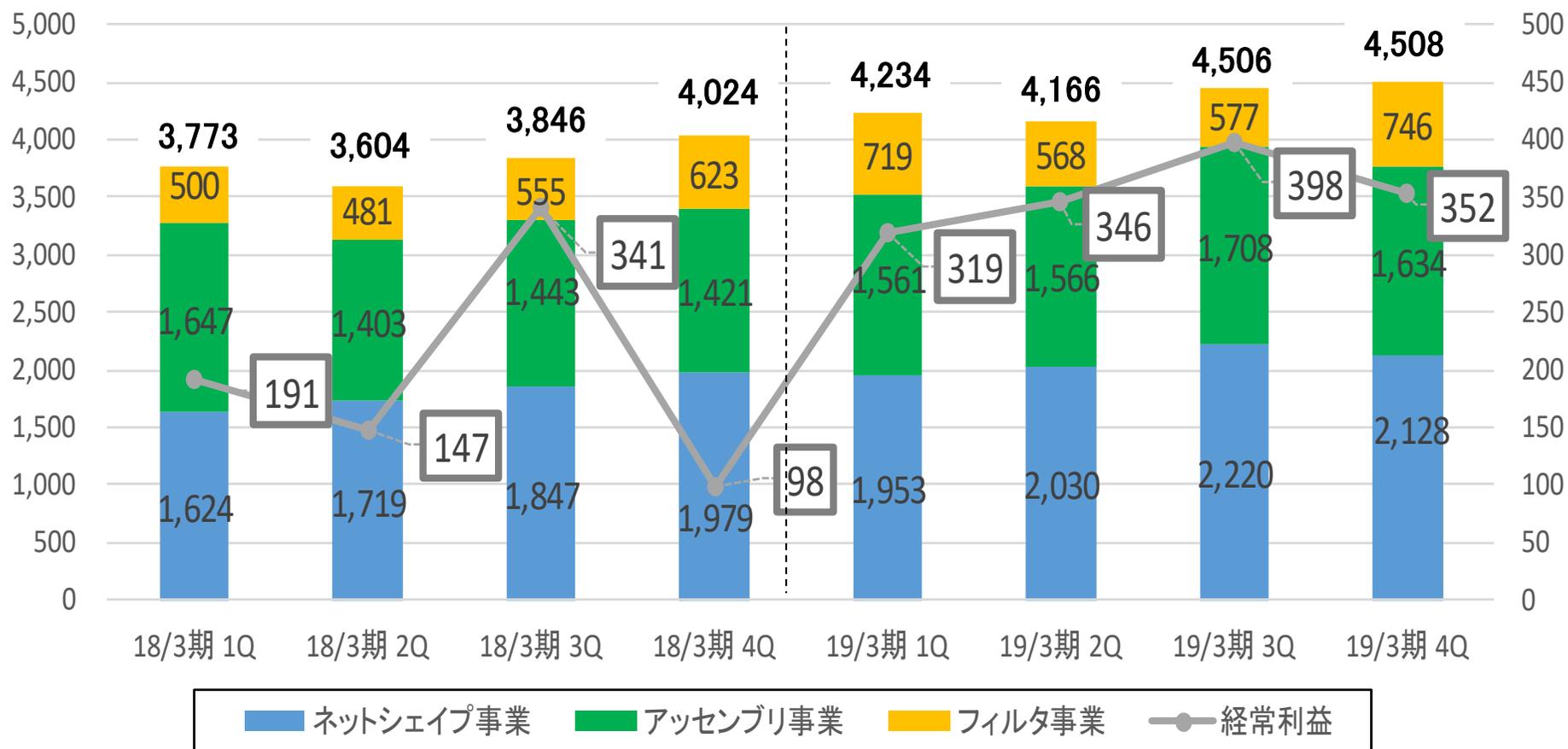
為替レート	18/3 実績	19/3 計画	19/3 実績
米ドル	112.39円	110円	110.58円
タイバーツ	3.31円	3.4円	3.42円

I .19/3期実績 — 四半期別業績推移 —

➤2019年3月期の下半期についても、上半期以上の売上高、経常利益で推移。

売上高(左軸)
棒グラフ
単位:百万円

経常利益(右軸)
折れ線グラフ
単位:百万円



※棒グラフ上方数値は、連結売上高

I .19/3期実績 — 事業別売上高の状況 —

単位:百万円

	18/3 実績 17/4-18/3	19/3 修正計画 18/4-19/3 (18年10月発表)	19/3 実績 18/4-19/3	対前期 増減率
ネットシェイプ	7,171	7,660	8,332	16.2%
アッセンブリ	5,915	6,130	6,471	9.4%
フィルタ	2,161	2,430	2,611	20.8%
連結計	15,248	16,220	17,416	14.2%

▶金型部門:
 主力ユーザーが引き続き
 堅調に推移し、下半期も
 好調に推移。
 ▶精密鍛造品部門:
 国内外の売上高が増加。

▶新規品の売上増により、
 増収となる。

▶電力産業向けの特需が
 あったことに加え、ヘルス
 ケア製品向けなどの主力
 製品が増加。

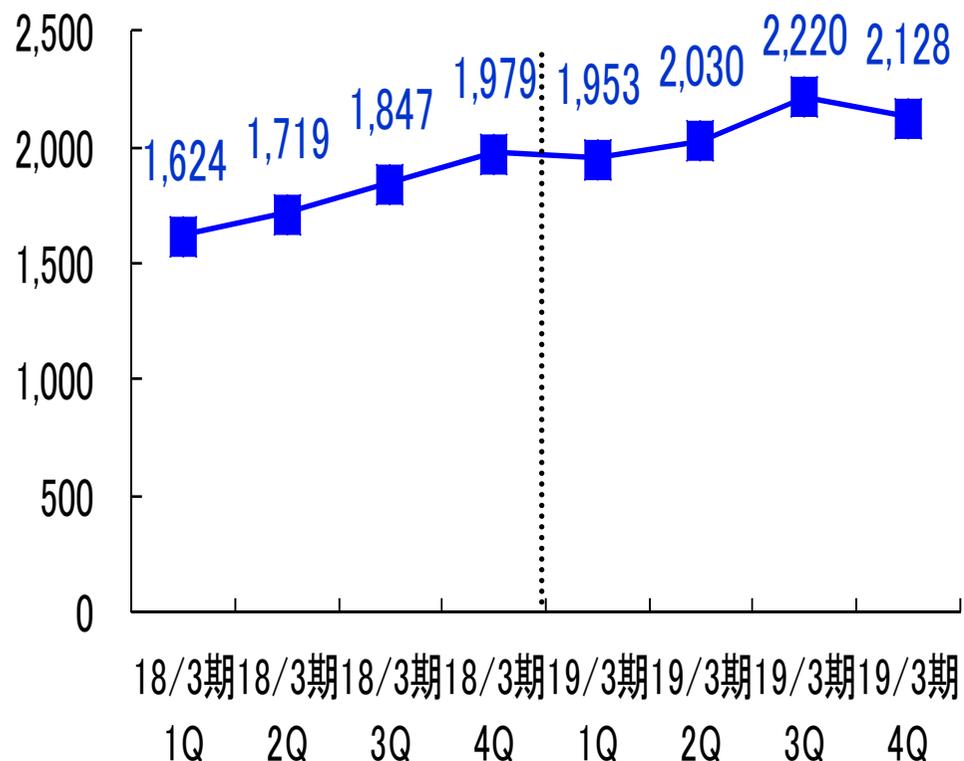
* 百万円未満切り捨て。

I .19/3期実績 — ネットシェイプ事業概況—

- 金型部門：国内外ともに主力ユーザーが堅調に推移。
- 精密鍛造品部門：国内外拠点とも売上高が増加。

ネットシェイプ事業売上高推移

単位：百万円



国内外別売上高推移

単位：百万円

	18/3 実績	19/3 実績	対前期 増減率
国内	5,087	5,905	16.1%
海外	2,083	2,427	16.5%
総合計	7,171	8,332	16.2%

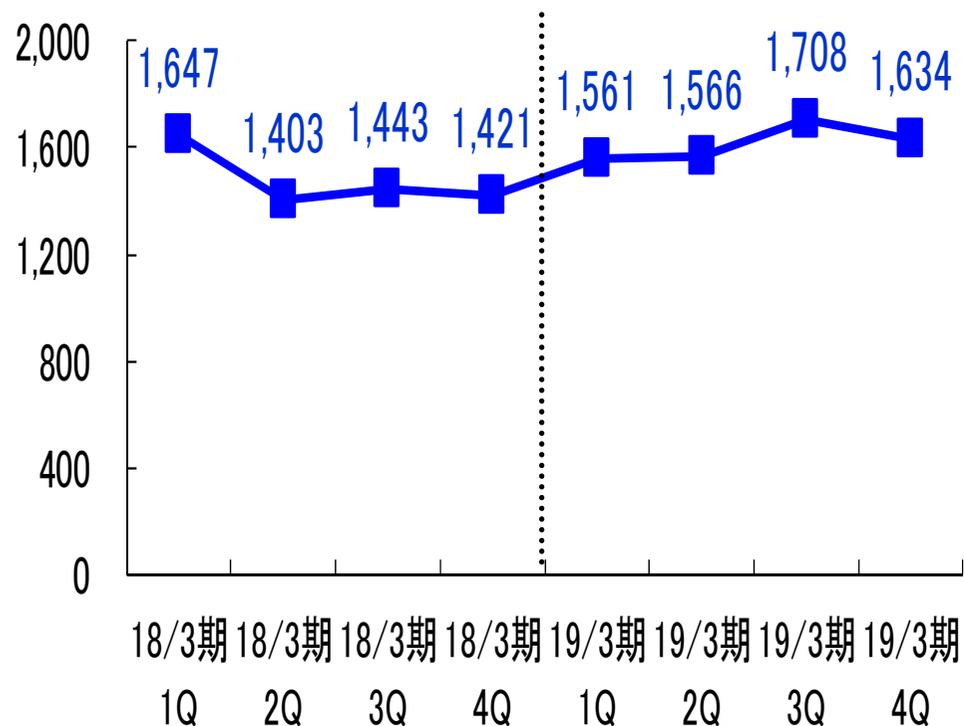
* 百万円未満切り捨て。

I .19/3期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- VGターボチャージャー部品の新規品が増加し、売上高に貢献。
- 海外売上高はほぼ同水準で推移。

アッセンブリ事業売上高推移

単位: 百万円



国内外別売上高推移

単位: 百万円

	18/3 実績	19/3 実績	対前期 増減率
国内	2,666	3,234	21.3%
海外	3,249	3,236	△0.4%
総合計	5,915	6,471	9.4%

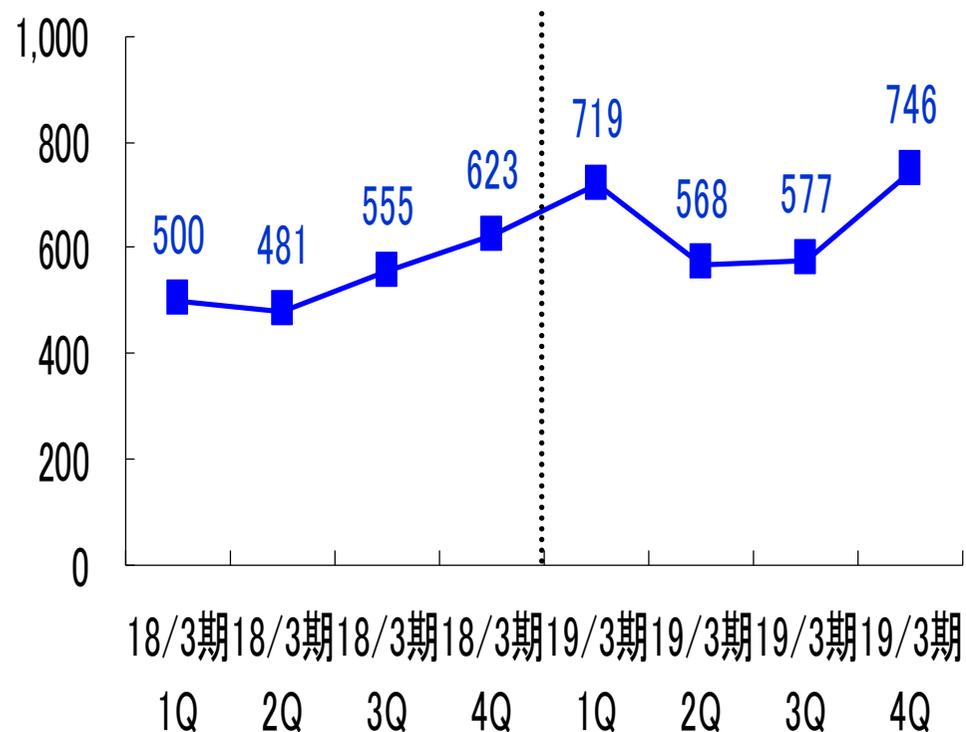
* 百万円未満切り捨て。

I .19/3期実績 — フィルタ事業概況 —

- 電力産業向けの特需あり。
- ヘルスケア製品向けなど主力製品が売上高増加となる。

フィルタ事業売上高推移

単位:百万円



国内外別売上高推移

単位:百万円

	18/3 実績	19/3 実績	対前期 増減率
国内	1,585	2,197	38.6%
海外	576	414	△28.0%
総合計	2,161	2,611	20.8%

* 百万円未満切り捨て。

I .19/3期実績 – セグメント別P/L –

単位:百万円

	18/3 売上高	経常 利益	利益率	19/3 売上高	経常 利益	利益率
ネットシェイプ	7,171	413	5.8%	8,332	837	10.0%
アッセンブリ	5,915	138	2.3%	6,471	346	5.4%
フィルタ	2,161	226	10.5%	2,611	233	8.9%
連結計	15,248	778	5.1%	17,416	1,417	8.1%

➤ 金型部門、精密鍛造品部門双方の売上高増による。

➤ 新規品生産開始に伴う増収効果による。

➤ 一時的な売上高構成の影響。

* 百万円未満切り捨て。

I .19/3期実績 — 売上原価 —

単位: 百万円

	18/3 実績	比率	19/3 実績	比率
売上高	15,248	100.0%	17,416	100.0%
材料費	5,588	36.6%	6,064	34.8%
製品仕入	825	5.4%	1,361	7.8%
外注加工費	1,417	9.3%	1,651	9.5%
補助材料費	459	3.0%	449	2.6%
人件費	2,566	16.8%	2,723	15.6%
減価償却費	730	4.8%	729	4.2%
在庫増減	△34	△0.2%	44	0.3%
その他	677	4.4%	726	4.2%
売上原価	12,301	80.7%	13,662	78.4%
売上総利益	2,947	19.3%	3,753	21.6%

製品仕入

- ネットシェイプ事業における周辺装置の売上高が増加。
- フィルタ事業における仕入製品の増加。

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	18/3 実績	比率	19/3 実績	比率
売上高	15,248	100.0%	17,416	100.0%
荷造・運賃	169	1.1%	198	1.1%
旅費交通費	118	0.8%	131	0.8%
人件費	1,078	7.1%	1,127	6.5%
減価償却費	129	0.8%	124	0.7%
賃借料	62	0.4%	60	0.3%
その他	633	4.2%	723	4.2%
販売・管理費	2,192	14.4%	2,366	13.6%

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	18/3 実績	19/3 実績	増減
現金預金	2,774	2,798	23
受取手形	581	592	11
売掛金	3,456	4,352	895
たな卸資産	2,084	2,270	185
その他	72	93	21
貸倒引当金	△1	0	1
流動資産計	8,967	10,107	1,139
有形固定資産	6,725	6,409	△315
無形固定資産	139	344	204
投資その他の資産	318	321	3
固定資産計	7,183	7,076	△107
資産合計	16,151	17,183	1,031

* 百万円未満切り捨て。

I .19/3期実績 — B/S:負債・純資産の状況 —

単位:百万円

	18/3 実績	19/3 実績	増減
買掛金	1,586	1,905	319
短期借入金	1,527	1,416	△111
未払法人税等	160	247	86
賞与引当金	149	155	5
その他	929	794	△134
流動負債計	4,353	4,519	166
長期借入金	497	577	79
その他	71	48	△22
固定負債計	569	625	56
負債計	4,922	5,145	223
資本金	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	0
利益剰余金	7,285	8,072	787
非支配株主持分	1,055	1,125	69
その他	265	216	△48
純資産計	11,228	12,037	808
負債・純資産合計	16,151	17,183	1,031

* 百万円未満切り捨て。

単位:百万円

	18/3	19/3	増減
営業活動によるCF	1,483	1,304	△179
投資活動によるCF	△568	△830	△262
財務活動によるCF	△798	△428	370
現金及び現金同等物増減額	187	23	△163
現金及び現金同等物の期首残高	2,478	2,665	187
現金及び現金同等物の期末残高	2,665	2,689	23
FCF	915	473	△441

営業活動によるCF

売上債権の増減額
(△は増加)

18/3 38百万円

19/3 △919百万円

たな卸資産の増減額
(△は増加)

18/3 △30百万円

19/3 △194百万円

* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ. 20/3期計画

Ⅱ.20/3期計画 — P/L:売上・利益 —

- 2020年3月期の業績予想については、米中貿易摩擦、英国のEU離脱等経済環境の変化が、日系自動車産業に影響を与えることが想定されることから、減収減益の計画とする。 単位:百万円

	19/3 実績 18/4-19/3	20/3 計画 19/4-20/3	対前期 増減率
売上高	17,416	15,500	△11.0%
売上総利益	3,753	3,290	△12.4%
販売管理費	2,366	2,290	△3.2%
営業利益	1,387	1,000	△27.9%
営業外損益	△29	0	—
経常利益	1,417	1,000	△29.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	968	660	△31.8%

* 百万円未満切り捨て。

為替レート	19/3 実績	20/3 計画
米ドル	110.58円	110円
タイバーツ	3.42円	3.4円

Ⅱ.20/3期計画 — 事業別売上高 —

単位：百万円

	19/3 通期実績 18/4-19/3	20/3 通期計画 19/4-20/3	対前期 増減率
ネットシェイプ	8,332	7,840	△5.9%
アッセンブリ	6,471	5,440	△15.9%
フィルタ	2,611	2,220	△15.0%
連結計	17,416	15,500	△11.0%

金型部門：

- 前年にあった大型案件が落ち着くことから減収を見込む。

精密鍛造品部門：

- スクロール鍛造品が減少する見込み。

➤ 自動車産業停滞の影響を見込む。

- 主に、W/Gターボチャージャー部品の減少を見込む。

- 2019年3月期に生じた特需が見込めないことから減収となる。

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	計画
設備投資額	1,290	1,313	774	966	434	771	1,530
減価償却費	764	879	970	793	860	853	860

* 百万円未満切り捨て。

Ⅲ. 配当について

Ⅲ. 配当について

	第2四半期	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
16年3月期	10.00	10.00	20.00
17年3月期	10.00	10.00	20.00
18年3月期	8.00	10.00 (普通配当8.00) (特別配当2.00)	18.00 (普通配当16.00) (特別配当2.00)
19年3月期(当初予想)	10.00	10.00	20.00
19年3月期(修正予想)	10.00(実績)	15.00 (普通配当10.00) (特別配当 5.00)	25.00 (普通配当20.00) (特別配当 5.00)
20年3月期(予想)	10.00	10.00	20.00

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

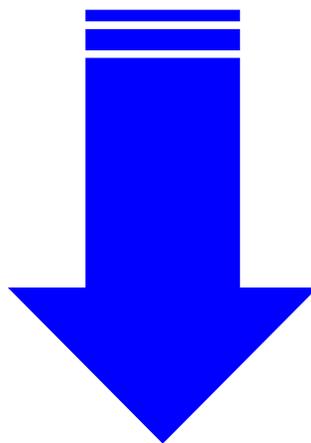
Fax : 0774-65-2301

E-mail : konno@nichidai.co.jp

付録.中期経営戦略について

当社グループを取り巻く3つの環境変化

1. 自動車産業における電動化への移行の加速
2. ガソリンエンジン車のダウンサイジング化の加速
⇒欧州におけるディーゼルエンジン車の構成比の減少
3. 高齢化社会進展に伴う、働き方改革への対応強化



経営戦略再構築(2019年3月期～)

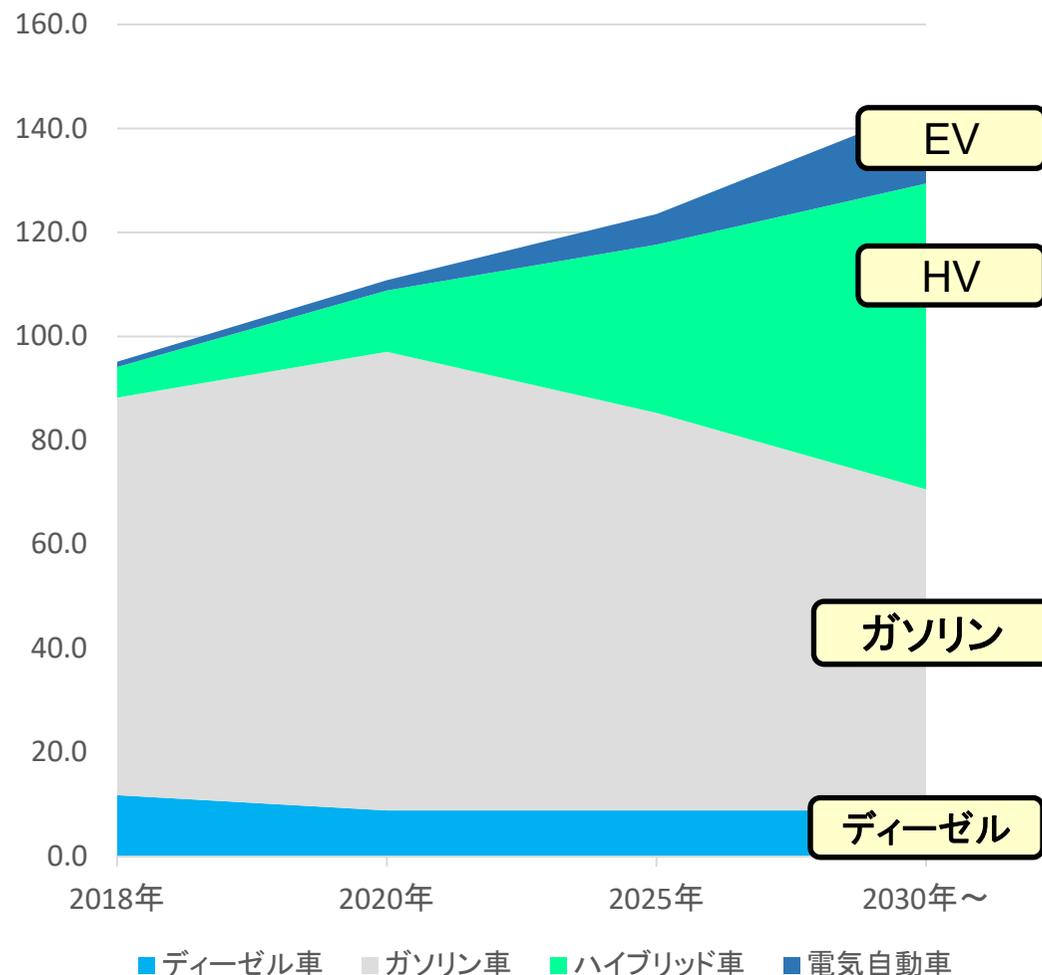
付録.中期経営戦略～次世代自動車への対応

自動車産業の変革に際して、10年～15年は高止まりが予想される既存需要と次世代自動車に関わる新規需要への対応のかじ取りが必要。

単位:百万台

自動車市場の将来イメージ

変革時代における対処すべき課題



- 10年先の対処課題
次世代自動車に関わる部品需要の増加
⇒従来の部品需要の減少への対応
- ここ10年の対処課題
内燃機関の比率が高い状態が続く。
⇒従来部品の需要増加への対応
- 直近の課題
ディーゼルエンジンの減少
⇒代替需要への対応

※参考先: 各種予想資料を参考に作成 数値はシナリオイメージ

付録.新中期戦略の挑戦、戦略、取組み

2019年3月期以降、下記の挑戦、戦略をもとに、中期経営戦略を推進。

基本戦略

挑戦1 既存事業強靱化への挑戦

他社の追随を許さない技術力の構築

- ニッチトップへの取組み
- シナジーを活用した独自技術の進化と構築

さらなるQDCの改善

- 各種KPIの達成
- 原価低減の着実な取組

挑戦2 次世代への挑戦

海外事業のさらなる進化

- 海外比率拡大
- さらなる海外拠点の強化

新規事業の立ち上げ

- 次世代自動車への対応
- 社内シーズの活用

人事・制度戦略

挑戦3 働きがいのある職場への挑戦

自己実現を果たせる環境

- 挑戦を歓迎する仕組み
- 成長を描ける仕組み

働きやすさの充実

- 働き方改革
- コミュニケーション改革

付録.新中期経営戦略～進捗及び課題

ポイント	取り組み	主な進捗状況及び課題
挑戦1 既存事業 強靱化への挑戦	他社の追随を許さない技術力の構築 ■ニッチトップへの取り組み ■シナジーを活用した独自技術の進化と構築	✓ ネットシェイプ事業:技術開発及びトータルエンジニアリング力を活用した受注活動により、金型及び精密鍛造品の新規ユーザー獲得を進める。 ✓ アッセンブリ事業:ネットシェイプ事業における構成部品内製化については継続。進展が遅れているものもあり、今後の課題として残る。 ✓ フィルタ事業:既存顧客内の深耕策が伸長。
	さらなるQDCの改善 ■各種KPIの達成 ■原価低減の着実な取組	✓ アッセンブリ事業:自動化ラインを導入。生産効率化策を推進。
挑戦2 次世代への挑戦	海外事業のさらなる進化 ■海外比率拡大 ■さらなる海外拠点の強化	✓ ネットシェイプ事業の強みを活用した、海外顧客への対応及び拡販が進展。 ✓ 海外拠点の位置付け及び再強化は課題として残っている状況。
	新規事業の立ち上げ ■次世代自動車への対応 ■社内シーズの活用	✓ 研究開発用プレス(NFD-1000)を活用した受託開発品の生産が増加。導入効果が表れてきている。 ✓ ネットシェイプ事業、フィルタ事業とも次世代自動車製品に関する需要あり。次世代への対応は引き続き課題。
挑戦3 働きがいのある 職場への挑戦	自己実現を果たせる環境 ■挑戦を歓迎する仕組み ■成長を描ける仕組み	✓ 従業員満足度の向上策が検討課題としてあがる。
	働きやすさの充実 ■働き方改革 ■コミュニケーション改革	✓ IT技術活用などの施策を検討中。 ✓ 時間生産性を高める方策を考える必要。